

今月の経済動向 (2019年9月)

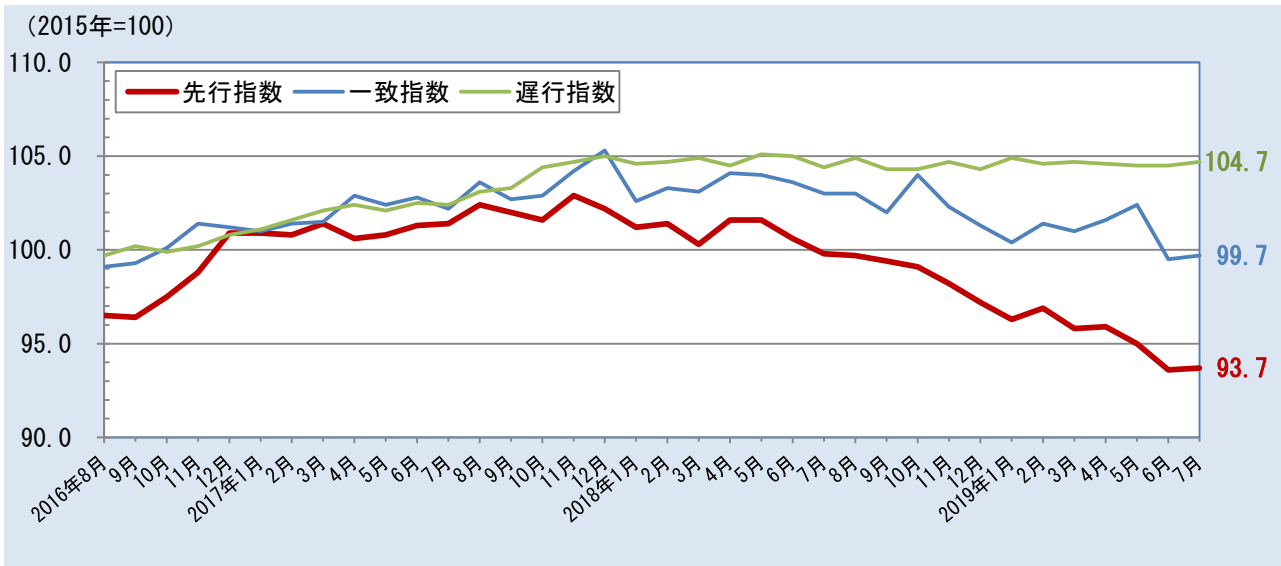
● 月例経済報告 (9/19)

<p>基調判断</p>	<p>(9月) 景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(8月) 景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(9月) 持ち直している。</p> <p>(8月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="686 470 1356 851"> <p>消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div>
<p>設備投資</p>	<p>(9月) 機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。</p> <p>(8月) このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。</p> <div data-bbox="686 873 1356 1254"> <p>製造業・非製造業の設備投資(名目額)</p> </div>
<p>住宅建設</p>	<p>(9月) <u>このところ弱含んでいる。</u></p> <p>(8月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="686 1288 1356 1668"> <p>住宅着工戸数(季節調整値)</p> </div>
<p>雇用情勢</p>	<p>(9月) 着実に改善している。</p> <p>(8月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="686 1691 1356 2072"> <p>雇用者数、就業者数の推移</p> </div>

<p>生産</p>	<p>(9月) 横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。</p> <p>(8月) このところ横ばいとなっているものの、一部に弱さが続いている。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移</p>																								
<p>輸出</p>	<p>(9月) 弱含んでいる。</p> <p>(8月) 弱含んでいる。</p>	<p>地域別輸出入数量指数</p> <p>①輸出</p> <table border="1"> <tr> <td>EU</td> <td>7月</td> <td>+4.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+0.1%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>7月</td> <td>▲0.2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲1.6%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>7月</td> <td>▲3.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲1.2%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>7月</td> <td>+1.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲0.9%</td> </tr> </table>	EU	7月	+4.1%		3MA	+0.1%	アメリカ	7月	▲0.2%		3MA	▲1.6%	アジア	7月	▲3.3%		3MA	▲1.2%	全体	7月	+1.5%		3MA	▲0.9%
EU	7月	+4.1%																								
	3MA	+0.1%																								
アメリカ	7月	▲0.2%																								
	3MA	▲1.6%																								
アジア	7月	▲3.3%																								
	3MA	▲1.2%																								
全体	7月	+1.5%																								
	3MA	▲0.9%																								
<p>国内企業物価</p>	<p>(9月) このところ緩やかに下落している。</p> <p>(8月) このところ緩やかに下落している。</p>	<p>企業物価の推移</p>																								
<p>消費者物価</p>	<p>(9月) このところ緩やかに上昇している。</p> <p>(8月) このところ緩やかに上昇している。</p>	<p>消費者物価の推移</p>																								
<p>海外経済</p>	<p>(9月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p> <p>(8月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p>																									

● 景気動向指数（2019年7月・改訂値）

2019年7月のCI一致指数（改訂値）は前月より0.2ポイント高い99.7ポイントとなり、32か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は前月より0.64ポイント低い100.5ポイントとなり、2か月連続の下降となった。7か月後方移動平均は前月より0.23ポイント低い100.9ポイントとなり、9か月連続の下降となった。
 CI先行指数は前月より0.1ポイント高い93.7ポイント、遅行指数は前月より0.2ポイント高い104.7ポイントとなった。
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「下げ止まりを示している」に据え置いた。



[景気動向指数：内閣府](#)